

富山大学
人間発達科学研究実践総合センター紀要

教育実践研究

第14号

令和元年12月

目次

論文

| | | |
|---|-----------------------|-----|
| 中学校社会科学習における市民的資質育成を目指す法教育 —公民的分野「裁判員制度」の単元開発— | 坂田 元丈 | 1 |
| 中学生における発達障害のある生徒に対する周囲の生徒の態度： 学年、性別、同調欲求との関連に着目して | 池永 優希・近藤 龍彰 | 11 |
| 教職員間における同僚性についての検討 —教師のバーンアウトと教師モラルへの影響— | 町田 克也・石津憲一郎・本村 雅宏 | 21 |
| チーム支援会議が教師のイラショナル・ビリーフに及ぼす効果 —教師の児童生徒理解の促進の視点から— | 安田 陽子・石津憲一郎・本村 雅宏 | 29 |
| 大学生の共食に対する態度の測定と共食教材の効果の検討 | 古川みらい・小川 亮 | 41 |
| 知的障害特別支援学校における教育課程に位置付けたプログラミング教育 —(2) 小学部自立活動におけるコード・A・ピラーの実践から— | 山崎 智仁・水内 豊和 | 51 |
| 学生は大学の歴史教育に何を求めるか：学生アンケートから | 徳橋 曜 | 61 |
| 幼児に対する防災教育プログラムの実践 | 小林 真・五十嵐望美・竹田 誠・窪田 広美 | 75 |
| 時間割編成システムのプロトタイプ開発と試行 | 佐伯 智成・山本 龍也・上山 輝 | 95 |
| 幼児の固定遊具へのかかわり方とその発達的变化に関する観察研究 —園庭の鉄棒と太鼓橋に着目して— | 龍田 幸奈・西館 有沙 | 103 |
| 道徳教育と教化 —I. A. スヌークの教化論の再検討— | 児島 博紀 | 113 |
| 報告 子どもの興味と表現を引き出す劇への取り組み | 千田 恭子・河合 亜紀 | 125 |
| 資料 放課後等デイサービス事業所と通常学級との連携のあり方に関する調査研究 | 田村あかね・和田 充紀 | 131 |
| 知的障害特別支援学校小学部におけるプログラミング教育の実施状況と課題 | 水内 豊和 | 141 |

富山大学人間発達科学部附属人間発達科学研究実践総合センター紀要投稿要項

平成 20 年 7 月 16 日制定

平成 28 年 4 月 1 日改正

1 紀要編集

センター紀要編集委員会（「以下「委員会」という。」）では、人間発達科学部附属人間発達科学研究実践総合センター（以下「センター」という。」）の紀要として、毎年度に1号の原稿を募集し、編集を行なう。

2 著者の資格

- (1) 人間発達科学部（以下「学部」という。）の専任教員
- (2) 大学院教職実践開発研究科（以下「研究科」という。）の専任教員
- (3) 学部附属学校園の専任教員
- (4) 編集委員会が認めた者、学部及び研究科の専任教員との連名で投稿する者

3 原稿の内容

- (1) 投稿原稿は、未発表のものとする。
- (2) 教育実践にかかわる理論的実践的研究に関する論文、報告、資料、その他とする。
 - ①論文とは、新たな発見または見解を示した研究成果を論述したものをいう。
 - ②報告とは、授業実践報告などをいう。
 - ③資料とは、研究レビューや紹介、総説などをいう。
 - ④その他とは、上記①から③以外のものをいい、著者が投稿の際にその名称を申告する。
- (3) 著者は、原稿の種類（論文、報告、資料、その他）を申告する。
- (4) 著者は、原稿枚数が別に定める基準を超える場合には、原則として経費を負担するものとする。

4 投稿と受領

- (1) 原稿の締め切り日は、8月31日とする。但し、その日が土曜日の場合は、翌々日、日曜日の場合は、翌日とする。
- (2) 投稿カードに所定の事項を記入のうえ、原稿2部と原稿を記録した電子メディアをセンター事務室に提出する。

上記の2の(3)による者は、その所属研究機関あるいは勤務先を記入する。

5 原稿の受付

- (1) 本委員会では、投稿された原稿について、本要項と執筆要項に照らしてその要件を満たしているならば、受け付ける。

6 修正と受理

- (1) 本委員会では、受け付けた原稿について査読する。

- (2) 本委員会では、原稿について、本委員会外にも意見を求めることができる。
- (3) 本委員会は、原稿の訂正を著者に求めることができる。
- (4) 原稿の採否は、本委員会が決定する。
- (5) 本委員会で採用を決定した年月日をもって、受理年月日とする。

7 校正

- (1) 校正は、著者の責任において所定の期間までに、初校及び再校を行なう。
- (2) 校正時における原稿の修正は認めない。
- (3) 三校以降は、委員会の責任で行なう。

8 二次利用

掲載された原稿の二次利用は、本委員会に委ねるものとする。

富山大学附属人間発達科学研究実践総合センター紀要執筆要項

平成 20 年 7 月 16 日制定

1 原稿の形式

- (1) 1 篇として成立し、分割されていないものとする。
- (2) 言語は原則として日本語、英語とし、その他紀要編集委員会で認めるものとする。
- (3) 母国語以外を用いるときは、校閲を受けることが望ましく、著者より依頼する。
- (4) 現行の表記法を用いる。
- (5) 単位、及び単位記号は、原則として M.K.S 単位系を用いる。

2 原稿の書式と体裁

- (1) 1 篇につき、図・表・写真等を含め、刷り上り 14 頁以内とする。やむを得ず制限を超える場合は著者の負担で掲載を認める。
- (2) 原稿の体裁は、書式見本（別紙）を基本とする。
- (3) 上記が困難な場合は、A4 判用紙に 32 字×25 行で印字する。図表がある場合は、そのまま印刷可能なものを添付すること。
- (4) 投稿論文数は、筆頭者 1 人につき、各号 1 篇とする。筆頭者による 2 篇以上の投稿については、編集委員会が審議して掲載の可否を決め、第 2 篇からは著者の負担で掲載を認める。

富山大学人間発達科学研究実践総合センター紀要
教育実践研究 編集委員会

委員長 笹田茂樹
委員 石津憲一郎
磯崎尚子
小川亮
近藤龍彰
千田恭子
高橋満彦
徳橋曜
長谷川春生

富山大学人間発達科学部附属人間発達科学研究実践総合センター紀要
教育実践研究 第14号

令和元年12月23日 発行

編集兼 富山大学人間発達科学部
発行者 附属人間発達科学研究実践総合センター
〒930-8555 富山市五福3190
TEL (076) 445-6380
印刷所 株式会社なかたに印刷
〒939-2741 富山市婦中町中名1554-23
TEL (076) 465-2341

“*KYOIKU JISSEN KENKYU*”

BULLETIN OF THE CENTER OF EDUCATIONAL RESEARCH AND PRACTICE UNIVERSITY OF TOYAMA

No. 14

December. 2019

CONTENTS

Original Article

- Low-Related Education for Growth Civil Qualitative in Junior High School Social Studies
— Development of a Unit“Saibann-inn”(Lay Judge System in Japan) in Civic Field —
..... Genjo SAKATA 1
- The Attitude for the Child with Developmental Disorder in Junior High School Students:
Focusing on Grade, Gender, and Desire for Conforming
..... IKENAGA Yuki, KONDO Tatsuaki 11
- An investigation on collegiality between teaches and its influence on burnout
and teacher’s morale in their school.
..... Katsuya MACHIDA, Kenichiro ISHIZU, Masahiro HONMURA 21
- How Can We Promote Teacher’s understanding children? :
Investigating the Factor Promoting and Inhibiting Teacher’s Understanding School Children.
..... Yoko YASUDA, Kenichiro ISHIZU, Masahiro HONMURA 29
- Measurement of University Students’ Attitude Toward Having Meal with Family,
and Effects of the Teaching Material for Improvement of Their Attitudes.
..... Mirai FURUKAWA, Ryo OGAWA 41
- Practical study of programming education for children with intellectual disabilities by using toy robots
..... Tomohito YAMAZAKI, Toyokazu MIZUUCHI 51
- What do Students Want to Learn in the Historical Education of the University?:
According to the survey of Students in Our University
..... Yo TOKUHASHI 61
- Program of Disaster Prevention Education for Yong Children
..... KOBAYASHI Makoto, IGARASHI Nozomi, TAKEDA Makoto, KUBOTA Hiromi 75
- Prototype Development and Trial on Our New Timetabling System
..... Tomonari SAEKI, Ryoya YAMAMOTO, Akira KAMIYAMA 95
- Observation Research on How Toddlers Use Playground Equipment and Its Developmental Change
—Focusing on Pull-up Bar and Arched Monkey Bar—
.....TATTA Yukina, NISHIDATE Arisa 103
- Moral Education and Indoctrination:
Reconsidering I. A. Snook’s Theory on Indoctrination
..... Hironori KOJIMA 113

Report

- The Initiative to Play that Draws Out Children’s Interest and Expression
..... Kyouko SENDA, Aki KAWAI 125

Material

- A Research Study on Cooperation
between After School Day Service Centers and Regular Classes
..... Akane TAMURA, Miki WADA 131
- Current States and Issues of Programming Education in Special Support Schools;
Elementary School Level
..... Toyokazu MIZUUCHI 141